

はばたき

2020. No. 91

令和二年度のはじめにあたり

常務理事 千日 清



昨年の今頃、新しい時代の幕開けを、平成天皇がお元

民全部が待ち受けていたことと記憶している。令和と元号が発表され、平成でもそうであったように、これから慣れ親しんでいくものであらうと感じていた。

令和二年を開始するにあたり、何かとても重く、新しい気持ちであることは否めない。昨年の夏以降に発生した強風水害により、今も尚大きな影響を残しているし、そしてまた、この二月から世界を震撼させている新型コロナウイルスの感染状況は、福祉施設にとつて恐怖の極みと言わざるを得ない。万全を期すと言っても、利用や帰宅の一部制限、消毒、職員への協力要請、毎日定刻での健康チェック等々、出来ることを確実に行うだけであるし、決して閉鎖することのできない仕事であることを改めて痛感している。それとは別に毎年今頃は、新任職員を迎え、事業計画を完成し次年度の抱負を語りながら、年度末の締めく

くりと年度開始の節目を円滑に進めている時期であると、幾度となくこの時期を繰り返して来た一人として、今年は桜の開花を喜び、春の訪れを感じ、膨らんでくる解放感と期待感、気持ちよいスタートを切ろうと、声高く頑張ろうと発するばかりには行かない気持ちでもあるのが本年。

でも、法人は安定感をもって進んでいる。昨年七月に平成二十四年より進めてきた一連の整備事業を無事終了し、全ての地区に短期入所棟を開設、日中活動事業所も増設し、多くの利用者の受け入れを可能としました。

船橋市と協議を進めてきた地域生活支援拠点事業の担当となるコーデイネーター事業も昨年十月より開始、市内グループホーム連絡協議会の事務局を同時に担当することになり、地域支援の核となるよう一層努力するところだ。

また、この二月からは高齢化と障害特性に個別に対応するべく日中サービス支援型グループホームもたちあげました。入所施設をスタートしたのが五十年前、その時その時代の福祉から

決して目を逸らさずの一つ一つ積み上げてきた事業。続けていくことの大切さと、幅広い発想が実を結んできたものではあります。が、これらはまた、一瞬にして壊れていく危険性をはらんでいることを自覚して、誠意ある福祉創りに進んでいかなければなりません。

四百名を抱える職員集団。エネルギーと現場力がひとつになつて歩み続ける法人。利用者をも大切に思い、職員同士が敬意をもってチームの総合力に転化できる機能をより強化し、今年も努力して参ります。日本の活躍を世界に轟かせるオリンピック同様（残念ながら延期となりましたが）、全員が誇りを持つた仕事ができるよう努力して参ります。

晴れ晴れとできる時まで、全利用者と職員でこの難関を乗り越えろぞ！

意気揚々と声高く頑張つて行こうと令和二年度を開始いたします。

どうぞ本年度も皆様からの温かいご指導を頂戴できますことをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

THE・座談会

大久保学園は昭和47年に法人が設立し、福祉の流れと地域のニーズにこたえる形で、事業を展開しもうすぐ50年になるうとしています。ここ数年、代宿地域支援センター、梨香園、とよとみみらいと事業展開をしてきました。今回は「とよとみみらい」の構想と今後の展開について、担当者に集まってもらい、座談会を開くことにしました。



座談会メンバー

GH担当者 係長 江澤 智子
 拠点・短期入所担当 係長 小澤 秀仁
 日中活動・リーダー 飯田 光洋
 司会進行 千日 清

千日

「とよとみみらい」で、令和元年10月に拠点事業を含む全事業が開始されました。今日は常務をはじめ、GH担当者として江澤係長、拠点・短期入所担当として小澤係長、生活介護は飯田さんに来てもらっていますので、それぞれの思いを聞いていきたいと思っています。まず、常務から「とよとみみらい」の構想について伺いたいと思います。

千日

とよとみみらいでは、拠点、グループホーム、生活介護、単独短期。たまたま同一敷地で事業展開することになったが、今まで地道にやってきた地域支援の一つの集大成としての位置づけと考えている。

そもそも、一期に入る前の話から始めようと思う。

中原理事長と共に、あの土地に行きつくまで。適切な土地を探す為に、何か所見に行つたものか。実際に見つけた時に、地主さんが以前から知っている方で、あまりに近い人で驚いた事。理事長としては感慨ひとしおのはず。土地を探していたのは、単独短期入所の場所として。自分が光風みどり園から大久保学園に異動して10年ぶりに学園に戻り、感じたことは併設の短期入所は、入所者にとっても、短期入所の方にとっても、お互い暮らしづらいということ。当時、南館（居住棟）は短期入所でごった返していた。単独短期という制度が始まり、ずいぶん調べ、別棟での単独型で15名を認めてもらった。その為、とよとみの一期工事でも、単独型短期入所を想定した。工事を二期に分け、

江澤

二カ年事業とし、二期工事では地域のニーズにこたえて事業を展開するつもりだった。ちょうどその頃、船橋市で拠点事業の公募があり、結果としていいタイミングで事業の展開ができ、プレゼンをして、市の事業を実施することになった。

千日

常務から「とよとみみらい」の構想についてお聞きすることができました。次に展開している事業それぞれについて聞いていきたいと思っています。船橋エリアにはすでにGHを展開し、今回さらに2棟のホームが増えています。今後の取り組みとしてはどんなものがあるでしょうか？

食事は専門家へ任せ、職員は直接処遇をする必要があると思います。送迎も専門家をお願いしてきました。90人の利用者が、16か所に暮らしているので、必要なことだと思います。

千日

ホームを整備し、施設に長く入所していた人ほど、ぜひホームに暮らしてほしい。そこは浪花節なんです。

椰原

生活介護については、どうですか？

飯田

「とよとみみらい」で生活介護を始めて、「職住分離」ができるということの大切さを感じています。「いつてきます」と出かけていくことで、施設に活気があるように感じます。入所施設と同じ敷地だと、洗濯物や食事の準備などが気になって作業に集中できなかった方が、気になるものがないことで、こだわりが減り、作業に集中できています。利用者の人数、送迎等総合的

に考えて、学園内で2つの部署で行っていた作業活動を合体して、一つの事業所とする形になっています。今後は、大久保学園の日中活動の方も、スペースを有効に活用しながら、新しい活動の展開を考えていきたいと思っています。

椰原

小澤

拠点事業はどうでしょうか？事業として思い入れがあります。常務から拠点についての説明を受け、「自分でいいのか？」と正直気が重かったのを思い出します。令和元年10月から拠点事業がスタートしました。困っている人の役に立ちたい。背伸びはせずに、今までやってきたことの延長線上でやっていくと思います。頑張りすぎるのではなく、身の丈で。オール船橋で行くなら、できないところは助けてもらうでいいのではないかと思います。

千日

コーディネート事業は、緊

急的な短期入所の即時受け入れが求められる。他のプランニングは計画相談で行う。今後はさらに、緊急で受け入れた人の行き先を探すところまで責任をもつ必要がある。

今まで取り組んできたことへの誇りもある。地域療育等支援事業を始め、地域支援に力を入れ、デイサービスも作った。船橋の圏域になかったナカポツを始めた。入所施設を地域移行するためにGHを作り続けた。108名だった入所定員を地域移行し、平成27年に80名定員にした。中原理事長が取り組んできた事業の集大成として、とよとみみらいがある。今回の施設整備は大変うれしいもののはず。ここ数年、代宿地域支援センター、梨香園、とよとみみらいと事業展開をし、よくぞ、職員が集まってきてくれたという思いが強い。今回の事業展開は、そもそも拠点事業を

椰原

他3名

新たに作ったというものではない。今までの在宅支援、地域支援というものの積み重ねの上にある。「大久保学園があつてよかった」と思ってもらえるようになると、職員は仕事が楽しくなるはず。もう土台は作ったので、あとは現場で形を作っていく。十分に話したので、これにてお開き。

「とよとみみらい」は、今までの大久保学園の在宅支援、地域支援の積み重ねの上にある事業展開。5年後、10年後にどうなっているか？また、座談会を開いてみたいと思う内容でした。

ありがとうございます。

行事予定

全体行事

5/20	佐倉農園整備作業
5/31	千葉県障害者スポーツ大会 陸上
5月	関東地区・千葉県職員野球予選
6/28	千葉県障害者スポーツ大会 フットベース
6月	法人理事会・評議員会
	関東地区・千葉県職員野球決勝
7/1~2	全国協会施設長会議
7/21	佐倉農園整備作業
7月	法人交流会
	定期健康診断
8/20~21	GH全国大会

大久保学園

5/31	一泊旅行
6/1	一泊旅行
8/8~16	夏休み
8月	保護者会

ふなばし工房

4/18	保護者会総会
5月	保護者個人面談
8/14~16	夏休み

光風みどり園

4/10	園庭食事会
4/15	保護者会総会
5/13	保護者会
5/16	春風祭
8/14~16	夏休み

みどり園

4/15	お花見会
5/16	保護者会総会
5月	お楽しみ会
6月	ユニット・みどりの家行事
7月	日帰り旅行
8/8	保護者会
8/8~16	夏休み

代宿地域支援センター

4月	お花見
5/9	家族懇談会
5月	利用者意見交換会
	GH日帰り外出
	イベント販売
8/14	代宿区盆踊大会

梨香園

4/15	保護者会総会
5月	日帰り旅行
6月	防災訓練(自主訓練)
	嘱託医訪問診療
8/14~16	夏休み

赤い羽根の共同募金



一部助成を受けてり
フト付きのエヴリイを
購入致しました。
大切に使用して頂き
ます。

寄付金

令和元年六月十八日
令和二年三月三十一日

〔後援会〕

陶山・熱・石川清隆・金子澄子・七海勝則・大塚勝明・小淵佳枝
植草一夫・糸川昇・浅井崇三・大塚和賀子・平山実・矢口勇雄
清水宏美・中川聖治・矢下春男・木原勝美・林みほ子・徳村都史子
針谷善美恵・飯塚浩之・中村美智子・初山敏雄・鈴木成子
蛸島英二・渡邊晃・布施義高・布施充成・川瀬育子
末広自動車工業(株)・内田幸子・飯塚昇・武正理恵・矢作榮
石川清・大川勝幸・加藤芳治・白倉美智子・堀内靖夫・岡田敬司
野尻武生・山田エリカ・小林英三・佐藤政子・竹原カエ・坪内宣昭
金成幸一・高橋實・青柳美和子・平山吉己・川上久雄・西井建二
中村建子・近藤裕昭・津浦邦次・奥村博・吉田幸男・本忠信
中島たけ・其田鉄三郎・根本二夫・篠崎照子・山崎孝子
菅谷くに江・奈野愛子・笹山和美・桐山昇・染谷寛治・杉本政雄
トイワン観光(株)・柳塚勇・板橋いづ子・梅津正信・井上正記
石塚宏・関口多比子・矢島弘美・平敏行・石塚渡・長田全弘
中島久志・(株)エイシオ・(株)伊賀屋・岸勝弘・平塚芳昭
鈴木孝子・宮平由美子・米栖修・林静子・大河原敏男
矢作豊・高安裕子・御給和弘・安部明寛・吉内厚子・吉内美保
友崎隆志・森義一・宮本保隆・サビズ・未澤正行・坂元哲雄
曾我鴨子・千葉理子・村林説子・豊田美紀・石井冬子・平野義久
高橋靖昭・栢野芳子・依知川節子・依知川一成・山路康一郎
青柳貞吉・飯塚三郎・渡邊弘子・木延久子・米澤頼子・佐伯教理
田中長江・谷口貞雄・伊都一利・原田キク子・大木まさ江

春風祭

令和元年五月二十五日

お祝い金品

鎮義一・平川国・橋本崇子・佐伯教理・(有)ウィンマックス
森孝子・栢野芳子・木延久子・長泉顕・村石智之・宮田静子
飯塚三郎

豊富第二期

令和元年六月二十二日

整備工事内覧会

お祝い金品

矢橋修郎・山崎諭・(福)心聖会・(株)メソス

みどり園祭

令和元年
十月十九日

お祝い金品

(株)アーキトレイン・旭建設(株)
(株)東進ビルシステム・(株)熊谷組首都圏支店

大久保学園祭

令和元年
十一月三日

お祝い金品

(株)アーキトレイン・(株)グローバル・林園建設(株)
(有)七カアール工房・豊富地区社会福祉協議会・山崎諭
鈴木碩・後藤美重子・雨宮育子・(福)南台五光福祉協会
旭建設(株)・電通システム販売(株)・(有)ウィンマックス
(有)ザインみふ・(有)松橋住毛エーゼン・トイワン観光(株)
馬淵建設(株)・(株)東進ビルシステム・宮本保隆・サビズ
依知川一成・(福)心聖会・(福)千葉福祉協議会・誠光園・(福)信登会
金塚町会・豊富地区連合町会・堀原栄山・柴山克己・長田全弘
大久保学園保護者会・内田幸子・七海勝則・中島たけ・吉内厚子
初山敏雄・松田久子・石川清・大塚勝明・岡田敬司
岡田さみ・田中みどり・森義一・奥村博・野尻武生
未澤正行・白倉美智子・矢口勇雄・梨香園保護者会・皆川明良
矢野光正・吉田隆二・磯部尚・東京城西リトリッククラブ
石井慎太郎・船橋東ライオンズクラブ・(株)ヒロハ・大新東(株)
(株)天野さく・旭建設・(株)サクラ建設工業・(株)メソス
(敬称略)

ありがとうございました

はばたき

二〇二〇 九一

発行所/社会福祉法人 大久保学園
発行/令和二年四月

編集/大久保学園 広報委員会
表紙/大久保学園理事長 中原 強
URL http://www.okubogakuen.or.jp
Mail shienka@okubogakuen.or.jp
TEL 〇四七(四五七)二四六二
FAX 〇四七(四五七)四〇六九